

2017年(平成29年)8月5日 土曜日

## 日本、韓国、ネパールの学生 環境保全で意見交換



環境保全について話し合う日本、韓国、ネパールの大学生ら  
＝都留文科大

NPO法人「ゲラウンドワーク三島」(静岡県三島市)は4日、都留文科大で韓国とネパール、日本の大学生が環境保全について話し合う討論

会を開いた。出席したのは、16〜23歳の韓国の16人とネパールの9人で、国際交流事業で来日している。日本からは都留文科大

生15人が参加した。環境問題に対する認識を深め、保全の在り方について考えようと、3カ国の学生による討論会を初めて企画した。

同NPOの渡辺豊博専務理事が三島市での環境保全活動の事例や2015年に地震があったネパールの現状、富士山周辺のごみ問題などを紹介した後、大学生が議論した。ネパールの学生は「川にご

みを捨てる人が多く、汚れてしまっている。日本のようにきれいな国にしたい」などと語った。韓国、日本の学生からは「環境保全は教育が大事」「地域住民レベルでの意識付けが必要」などの意見があった。

韓国とネパールからの一行は7日まで、富士山周辺の河川や湧水などを見学する。